学校番号	２１０２

令和２年度福祉科

教科	福祉科	科目	コミュニケーション技術	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	コミュニケーション技術（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、すべてのケースで留意されなければならない一般的なコミュニケーション技術と障がい種別ごとに必要とされる個別のコミュニケーション技術の２つの内容について主に学びます。本校では実際に介護職に就く人は少ないので「介護におけるチームのコミュニケーション」に充てる時間数は少ないです。コミュニケーションの「技術」の理解と獲得を目的にしていますので、理論を学ぶだけではなく、実習などを多く授業の中で行います。

2　学習の到達目標

コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得し、介護福祉援助活動で活用する能力と態度を自ら育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	コミュニケーションの理論を積極的に理解し、実習などで技術を身につけたうえで、日常生活の中で、積極的に活用していく。	コミュニケーションに関する理論について理解しようと努めている。どのような場合にどのような理論や技術を用いればよいか自ら考え、実践しようとする。	様々なコミュニケーションの技法を身につける。	コミュニケーションの技法を理解する。障がい種別ごとのコミュニケーション技術については、それぞれの障がい特性についても理解している。
評価方法	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方)・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方)・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方)・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	介護におけるコミュニケーション	・コミュニケーションの意義と役割 ・コミュニケーションの基本技術	○	○	○	○	a：授業中の様々な実習に意欲的に参加し、自ら発言し、他の受講者とのコミュニケーションも積極的にとろうとする。 b:利用者の個性やコミュニケーションの場面の特性を考え、どのような表情・語調をとることが適切か自ら考えることができる。 c: 目線・顔の表情・言葉の語調・身だしなみ・適切な距離などを意識し、サービス利用者の感情表現の察し方、納得と同意の得方、質問の仕方、意欲の引き出し方などコミュニケーションの基本技術を身につけている。 d: サービス利用者に働きかけ人間関係を形成するコミュニケーションについて、その意義や役割について、具体的な事例などを通して理解している。	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート
	サービス利用者や家族とのコミュニケーション	・サービス利用者に応じたコミュニケーション ・サービス利用者や家族との関係づくり	○	○	○	○	a: サービス利用者（特に障害のある様々な人々）や介護に関わる家族の特性を関心をもって学ぼうとする。 b: サービス利用者（特に障害のある様々な人々）の特性や介護に関わる家族の置かれた状況をふまえ、どのようなコミュニケーションをとることがふさわしいか自ら考えることができる。 c:それぞれのサービス利用者の状況や状態に応じた、適切なコミュニケーション技法を身につけている。また家族への支援について、信頼関係の形成過程やサービス利用者と家族の意向を調整する技法、相談・助言・指導する技法など、具体的な事例を通して身につけている。 d: サービス利用者（特に障害のある様々な人々）や介護に関わる家族のそれぞれの特性に関する知識を身につけている。	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート
	介護におけるチームのコミュニケーション	・記録による情報共有化 ・チームによる連携				○ ○	a:介護記録の重要性やチームのコミュニケーションとして記録による情報の共有化の重要性に関心をもっている。 b:どのように記録をとり管理・活用するか、またどのようなチームのコミュニケーションが効果的か考えることができる。 c:記録の方法と管理法、記録の活用法と留意点などについて理解している。またチームのコミュニケーションの実際について理解している。 d:介護実践における記録の意義や目的、記録の種類、記録の方法と管理、記録の活用と留意点などについて理解している。	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。